［ 新春対談 ］

西川裕町長 × 中村泰士・坂本亜美

いよいよ２００８年もスタートです。新年は本町にとってどのような年になるのでしょうか。今回は、そのようなみなさまの声に応えるべく、この新春対談を企画しました。町長と対談を行うのは、入庁間もないフレッシュな新人職員2名。町づくりの話はもちろん、町長のプライベートにいたるまで、色々と語り合ってもらいました。



田舎らしさを磨く

集いの場を大切にするまち
そして、笑顔とやさしさに溢れるゆとりと安心感のあるまち

［プライベート編］

中村　早速ですが、私も含め町民の皆様も町長の人柄について興味を持っていると思います。ご自分の性格についてどのように分析されていますか。

自己評価ですね。心はやさしいほうだと思います。その反面、銀行にいた関係でお金に関してはシビアです。欲しいものがあってもローンは組まずにこつこつと貯金してから購入するタイプですね。それから競争を好みません。みんなで仲良くやりましょうよという感じです。

中村　町長は非常に多忙ですが、ストレス解消はどうのようにされているのでしょうか。

仕事自体に興味を持っていますから、仕事で一つひとつの課題を解決するのがストレス解消のような感じです。

坂本　職場で解消ですか・・・

そうですね。でもそれが出来ない時は重盤岩で山作業をします。町の真ん中にあいった岩山があるというのは全国でも珍しい。住んでいる人は気付かないけれど観光の目玉になるのがあの一帯だと考えています。春夏秋冬、季節季節で移り変わる景色を提供できたらいいなと考えています。それからこの作業は集中しないと危険ですから自然と無心になれます。山の手入れに行くこと自体も森林浴になっていいですしね。あとは寝ることと笑うこと、温泉でリラックスするのもいいですね。

坂本　もう少し踏み込んで普段の生活についてお聞きします。奥様が国会議員になられて7年程が経ちますが家事などはどうされているのでしょう。

何もない時は夕食は作りますよ。魚の煮付けやブリ大根、オムライスも作ります。料理は学生の頃からしていましたので苦にはなりませんね。それから感じるのは時代が変わったということ。男女共同参画社会が進展したんでしょう。

坂本　洋服やネクタイ選びなどはどうされていますか。

あまりこだわりはないんですが、たまに自分で買うと似合わないと言われるので妻にまかせています。

坂本　それから・・・答えにくいかもしれませんが好きな女性のタイプを教えてください。

やさしい人がいいですね。それと外見ばかり気にしている人は好きじゃないです。ありのままの自分を出せる人、理知的でジョークのわかる人、そして明るい人がいいです。

坂本　奥様はその条件にぴったりだったと・・・。

まあそうだったんでしょう。それからフィーリングや感性の相性が一番大事だと思います。

坂本　超多忙な奥様のために特別なサポートはされていますか。

国の制度を改正する議論の際には、現場である町の立場から意見を言うことはあります。それから本当に疲れていますから、帰って来た時はできるだけゆっくりさせようと心がけています。

坂本　何かプレゼントなどは？

言葉のプレゼントはやりますよ。お金のかからないプレゼントです（笑）。帰ってきた時には食事に誘ったりもします。

坂本　仲がいいんですね。

仲はいいと思います（笑）。男はよく結婚すると威張るなんてことを言いますが、年をとっても友達でいるという感覚が大事なのかもしれません。





